

居合道たより40号



居合道ながさき



『松の葉が刻む朝日も冬至かな』 (林翔)・・・冬至

冬至とは、北半球において日の出から日の入りまでの時間をもっとも短い(=夜が長い)日のことです。冬至の日程は天文学的に決まり、今年(令和5年)は12月22日です。南半球では同じ日が、もっとも昼の時間が長い日です。なぜ夜が長くなるのでしょうか？ひとことで言うと、「地球の回転軸が傾いているから」です。冬至では南瓜に含まれるビタミンなどの緑黄色野菜で冬を乗り切るために南瓜を味わって栄養をつけるようにしています。このことは明治以降に生まれた比較的新しい習慣と考えられています。また、冬至の風習には柚子湯(ゆずゆ)で心と体を癒すという習慣が江戸時代からあったようです。「東都歳事記」によると、「冬至 今日銭湯風呂屋にて柚湯を焚く」との記述があり、「冬至」を「湯治」にかけ、「柚子」を「融通が利く」(=体が丈夫)にかけて、お風呂屋さんが始めたとされています。



写真:クリスマスリース

居合道の稽古も春までは各自が地道に基本を大切に続けていきたいものです。居合道の稽古を通して、冬の寒さに負けない体づくりをしておきたいものです。

お知らせ(1)・・・第2回県居合道委員会・居合道理事会 開催

標記の委員会及び理事会を令和6年1月21日(日)長崎県営野球場にて開催いたします。居合道委員及び居合道理事の皆様のご出席をお願いいたします。

1. 日時 令和6年1月21日(日)
 - ①居合道委員会 12時30分～14時30分
 - ②居合道理事会 14時30分～16時30分
2. 会場 長崎県営野球場 第2会議室(長崎市大橋町)
3. 内容
 - 1) 令和5年度事業報告、令和6年度事業計画及び予算案
 - 2) 居合道部功労賞選出について
 - 3) 年度当番地区割について
 - 4) 長崎県居合道選手権運営及び全日本居合道大会強化について
 - 5) 居合道普及及び道場紹介について
 - 6) 居合道段位審査員選出について
 - 7) 居合道部役員改選及び役割分担について

報告(1)・・・令和5年度長崎県剣道連盟居合道部 古流研究会

標記研究会が令和5年12月3日(日)長崎県立武道館において開催されました。本研究会の参加者は段外0名、初段3名、二段3名、三段3名、四段3名、五段6名、六段6名、七段9名、参加者流派は無双直伝英信流12名、夢想神伝流15名の合計27名でした。

古流研究会資料に基づき高木志伸居合道部長より古流の歴史と系統図などの概要が説明されました。無双直伝英信流は教士七段金丸律子先生を中心に高知県土佐から平戸に伝わる直伝流大森流及び奥居合立業を全員で実技指導を受けました。夢想神伝流は教士七段月見一博先生を中心に対馬に伝わる神伝流初伝及び奥居合立業を全員で実技指導を受けました。

各流派共に研究会後半では無双直伝流は居合道錬士六段岩男徹史先生より、中伝立膝、奥伝立膝、諸手早抜きが披露され、夢想神伝流では居合道錬士六段畑中健佑先生より中伝立膝が披露されました。

【参加者感想】:参加人数は少なくて残念でしたが、少ないなりに和気藹々と段位に関係無くできたのはとても良かったです。同じ流派でも色々な違いがあって大変勉強になりました。

夢想神伝流 奥居合立業「惣留」	無双直伝流 大森流「前」演武
夢想神伝流 奥居合立業「惣捲り」	長崎県居合道古流研究会 参加者全員での集合写真

報告(2)・令和5年度全剣連居合道中央審査会(東京審査)

居合道教士号 竹本 剛(県居合道事務局長) 祝 **合格！！**

令和5年11月15日東京都で審査された居合道称号審査会において教士号に竹本 剛(県居合道事務局長)が合格をしました。また、錬士号には 畑中 健佑(遊道会)、小峯 龍太郎(県居合道部)、陣川 賢一(友劔会)、田口 春男(生武館)が合格しました。

日頃の稽古に対する熱い思いや、弛まぬ努力の成果が現れたのだと思います。おめでとうございます。令和6年3月6日(日)に京都市武道センターで開催される居合道七段・六段審査においても受審される先生方も合格できますようお願い申し上げます。

教士号合格	
竹本 剛	県居合道部
錬士号合格	
畑中 健佑	遊道会(長崎)
小峯 龍太郎	県居合道部
陣川 賢一	友劔会(島原)
田口 春男	生武館(大村)

読み物(1)・居合道の信条について考える 教士七段 高木志伸

居合道修業で最も大切なことは礼儀である。神前、恩師、先輩、刀、相互に対しての始礼、終礼である。このことを真心こめて行う。これが自然に身につくと、自らの人格も向上することとなる。

居合道は一種の刀法として始まったが、その目的は精神の鍛錬が第一で、身体の練磨、技術の訓練という順になる。心身の鍛錬は剣道と同じだが、その技術は剣道の根本となるものである。つまり、刀の運用や礼儀など、すべてが剣居一体のものであり、この修業をすることは、自分自身の心身の鍛錬、人格向上につながるものである。技の修業ばかりやって心の修業を怠るならば、深味のある居合道、人格は出来ない。しかし、そうかといって心の修業ばかりしていても技の修業を積まなければ、刀を自由に使うことが不可能である。立派な居合道をやるためには心の修業と技の修業とが伴わなければならない。

また、技は正確に大きく強く行うということから、まず「全日本剣道連盟居合」を居合の基本技として、時間をかけ修業するように指導し、これが正しくできるようになってから夢想神伝流であれば「初伝」「中伝立膝」「奥伝立膝」「奥伝立業」、無双直伝流であれば「大森流」「英信流」「中伝立膝」「奥伝立膝」「奥伝立業」「組み太刀の部」と古流の修業へと進むように指導する。

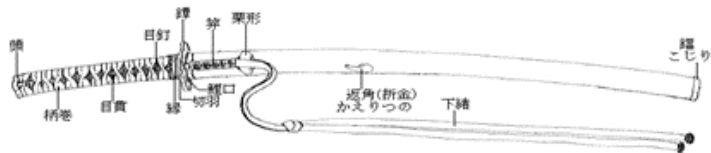
居合道の指導上、私が心掛けることは次のようなことである。

- (1) 居合道の意義、目的など、本質をよく理解し、それに合った指導を行う。
- (2) 自己の人格の完成を目指し、常に技量の向上を心がける。
- (3) 指導目標を立てて、指導を受ける者にとって、もっともふさわしい方法により組織的に指導する。
- (4) 初心者に対しては、正しい居合道を身につけさせるように留意するとともに興味を失わせないようにする。
- (5) 上位者に対しては、技と理論を併行して指導し、真の居合道を理解させる。
- (6) 日頃から居合道に関する書物を読むなど、居合道に関する研究を怠らない。
- (7) 指導者は、日常生活においても、他の模範となるように努める。

お知らせ(2)居合道部 年間行事計画(後期)

令和5年度 居合道部 年間事業計画 (令和5年12月15日現在)

月 日(曜)	行事内容	場所
12月23日(土)	第65回大阪居合道大会	大阪エディオンアリーナ
12月24日(日)	第25回県下剣道祭	県立総合体育館(サブ)
令和6年(2024) 1月21日(日)	第2回居合道委員会・理事会	県営野球場(第3会議室)
2月24日(土)	審査員講習会	大村中央公民館(シーハット)
3月3日(日)	七段・六段 段位審査会	京都市武道センター
3月20日(水祝)	北九州居合道大会	北九州市立総合体育館
3月24日(日)	春季居合道講習会・級位審査会	長崎県立武道館
4月7日(日)	居合道段位審査会・講習会	長崎県立武道館



山本晴介教士 山下正光範士 宮崎勝次教士・加藤忠清教士・石橋八郎教士